

遊びながら 学びながら  
ときめき発見！

\*\*\* 本号のラインナップ \*\*\*

まちの遊学人

オレンジカフェ（認知症カフェ）による脳の活性化

◆清水 鉄夫 さん

放課後子ども教室  
わかたけっこひろば

◆久保谷 実 さん

サークル紹介

手作りギャラリー展を仲間と楽しむ

◆遊里窯工房

躍動の今が青春

◆豊野地区民踊連盟

生涯学習事業レポート

◆バスを利用した秋の散策  
（武里地区・武里大枝公民館）

◆しょうわ塾「挑戦しませんか！  
バルーンアート」  
（庄和地区公民館）

皆さんのグループでの学びに活用してみませんか？

かすかべし出前講座



令和6年度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 令和6年4月発行 11月更新

## かすかべし出前講座メニュー一覧

（市民講師編・行政編）

かすかべし出前講座は、皆さんの学習会や集まりに講師を派遣し、暮らしに役立つ情報や市の事業について講義・実技等を行うものです。豊富なメニューがありますので、ぜひご利用ください。  
開催日時や内容などについては、事前に調整が必要となりますので、あらかじめ社会教育課 生涯学習推進担当へご相談ください。

スポーツや  
体操

大人の学び

こどもも  
楽しめる♪

芸術・文化  
の鑑賞

モノ  
づくり

地域サロン等の親睦会に

子ども会での催しに

サークル活動の技術向上に

PTA活動での勉強会に

**問い合わせ／社会教育課 生涯学習推進担当**

〒344-0062  
春日部市粕壁東3-2-15（教育センター3階 視聴覚センター内）  
TEL: 048-763-2425 FAX: 048-763-2219  
メールアドレス: s-kyoiku@city.kasukabe.lg.jp  
※視聴覚センターの休所日は月曜日・祝休日です

市公式HPにて  
随時更新♪



（詳しくは、市公式ホームページをご覧ください）

かすかべし出前講座では、皆さんの学習会や集まりに講師を派遣して、様々な講義や実技を行っています。幅広い豊富なメニューがありますので、自治会やサークル、クラブなどでの学習会等でぜひご利用ください。

# まちの遊学人

## オレンジカフェ（認知症力 フェ）による脳の活性化

清水 鉄夫さん（豊春地区）



日本は超高齢化社会が進んでおり、年齢が高くなるほど認知症になる方が増えている現状となっています。

清水鉄夫さんは、退職を機に介護老人保健施設に勤めながら介護ヘルパー1級を取得し、介護老人保健施設に7年勤めましたが、腰と膝を痛めたため退職しました。しかし、取得した資格・技術を活かしたいとの思いから施設を回り、地域包括支援センターの催し物あるいは「サポーター」として何か出来るかな?と考へ、オレンジカフェ会員としてバックアップする形で現在のボランティア活動に至っています。

オレンジカフェは、地区公民館及び第二公民館で月2回行われており、火曜日が「ともしび」、水曜日が「せせらぎ」と呼ばれています。

活動内容は音楽療法の一環で、昔の歌をなつかしく思い、楽しく笑顔

で歌いながら昔の事を思い出し、共感出来る仲間とどんな話を楽しんでもらっています。傍にいます清水さんの話の聞き方、あいづちの入れ方などが優しく安心して話せる雰囲気ななか、心穏やかな時間を過ごしながら脳トシが行われています。

認知症予防のための童謡などを歌いながら、右手でパー左手でグー、途中から右手でグー左手でパーの様に入れ替える運動を加えた音楽療法は、脳トシ活動に結びつけられ認知症の予防に役立っているそうです。

今後の活動についての課題と目標は、「男性の参加者が殆どいないので1人でも参加できるように活動が浸透して行く様になりたい。また1人では参加しにくいので、複数人で参加できるように方策を検討しています」と、意気込みを話してくれました。



歌いながら グー、パー

## 放課後こども教室 わかたけっこひろば

久保谷 実さん（武里地区）



久保谷実さんは、武里地区で「放課後こども教室」の実行委員会会長として活動しています。放課後こども教室は、こどもたちが安全・安心な場所でさまざまな体験活動や交流活動などを行い、健やかに育つことを推進する国の施策に基づく市の取り組みです。久保谷さん達は、武里小学校の児童を対象に「わかたけっこひろば」を作り、今年で11年目になります。

平日の放課後や土曜日及び夏休みなどに、武里小学校の教室や校庭及び武里市民センターを利用して行っています。活動メンバーは、久保谷さんの他に、コーディネーター、ボランティア、保護者などです。

平日は「月曜ひろば」として、年14回武里小学校で児童の宿題を見たり、校庭で遊ばせています。学校が休みの土曜日には「土曜ひろば」として年9回武里市民センターを利用して活動しています。館内では料

理、工作、ドッチビーなどを、館外ではキックベースなどをしていきます。また夏休みには、「夏の特別企画」も行って、今年度は「そば打ち体験」をしました。ここ以外に公民館を利用して実施している放課後こども教室は、殆どないのではないかと話していました。

久保谷さんは、この他にも自治会活動では要職を務めて、住みよい地域社会づくりを進めています。また、健康にも気を付けており、趣味としてマラソンや登山などもしています。東京マラソンを始め多数の大会に参加しており、その数は70回を超えています。登山では、既に日本百名山の全頂制覇をしています。

「わかたけっこひろば」の活動は、すべてボランティアのため組織を維持していく苦労はありますが、楽しそうにしてくれるこどもたちの笑顔を励みにこれからも頑張っていきたいと話していました。



楽しい体験

# サークル紹介

## 手作りギャラリー展を仲間と楽しむ

遊里窯工房(幸松地区)



夢中で作品作り

「遊里窯」は、代表の谷利ゆり子さんが焼物祭りで個性的な作品に出会い魅了されたことがきっかけで、陶芸教室に通い技術取得後に自宅の敷地を開いた工房です。

平成18年頃から教室を始め、現在40名の会員が豊かな自然に囲まれた静かな工房で、夢中になって自由に作品を制作しています。活動は月10回程度行っており、活動時間は午後1時から午後5時までです。一つの作品を作るのに概ね1回から3回で作り上げます。興味・関心のある方は、随時体験も受け付けています。工房内には、釉薬をかけた後の状態を表す様々な色の釉薬の焼き上がり見本や完成した作品もたくさん並べられ、これらを参考にしながら、世界に一つの自分だけの作品を制作できることが何よりの楽しみで、土を捏ねて形を作り、どの釉薬をどのように掛けるかなど様々な構想を

練りながら作りますが、焼きあがるまでその結果が分からないのも陶芸の魅力です。また、作ったものを使い続けることで、経年変化を楽しみ愛着も一層わいてきます。

平成19年3月から『友達が友達を呼ぶ』という形で仲間が増え、「手作りギャラリー展」を開催する運びとなりました。この展覧会は一般の方々へも披露しています。コロナ禍を経て、来年は第7回を迎えます。当初は陶芸のみの展示会でしたが、陶芸をきっかけに陶芸以外の仲間との輪も広がり、様々なクラフト作家の方々と合同で展示をしています。かつては2年に1度の開催でしたが今では活動も充実し、年2回の開催となりました。

地域の振興や町おこしのきっかけになればと思い、活動を続けています。作品作りをしている方がいましたら、是非一緒にいかがでしょうか。

連絡先：遊里窯 谷利 ゆり子  
電話 048-763-0343



数々の作品

## 躍動の今が青春

豊野地区民踊連盟(豊野地区)



全員集合でニッコリ

豊野地区民踊連盟は、平成22年4月7日に橋本明子会長以下40名で結成されました。会は全国組織で、3年毎に発表会があります。練習は月に3回、水曜日の午後1時から3時まで豊野地区センターと藤塚公民館で行っています。

会は、役員と班長とで構成されて活動しており、踊りの指導は、代表の山懸千鶴子さん・福島富美子さん・谷津ちい子さん・加賀山良子さんの4名を中心に行っています。

今日10月30日(水)は、来る11月10日の豊野地区文化連盟主催の「50周年記念・豊野地区文化祭」に向けての練習日で、豊野地区センターの講堂には現会員のほぼ全員が30余名が参加し、最終の仕上げに汗を流し

ていました。発表は、下津井節(岡山県)・田無音頭(東京都)・岩手わん(そば音頭)(岩手県)・よさこい節(高知県)の4曲で踊り、その他「みんなで踊ろう」では長生きサンバ・春日部音頭・マッケンサンバの3曲の踊りを指導します。

その日の練習後に、全員集合の記念写真を撮りました。撮影後に、代表の方々に会の年間活動等について話を伺いました。

春日部市の藤まつりや夏祭を初め、豊野地区自治会の行事や納涼祭の他に豊野地区体育祭のアトラクション等に参加し、さらに「全国レクリエーション大会」にも出場して、全国の民踊を紹介しています。

会長は90歳を超え益々元気で、会員の平均年齢も80歳ですが、今年は結成15年目を迎え、皆和気あいあいと楽しんで活動しています。



和やかな練習風景

# 生涯学習事業レポート

## バスを利用しての秋の散策

武里大枝・武里地区公民館



ハルカイトで職員から説明

11月21日(木)、武里大枝公民館と武里地区公民館の共催で「バスを利用しての秋の散策」を実施しました。今回のコースは、大風文化交流センター(ハルカイト)と、キューピー五霞工場の見学です。参加者は31名で、他に生涯学習市民推進員4名と公民館職員4名が同行しました。当日は各公民館に集合して出発し、道の駅庄和で合流しました。

道の駅庄和では、今日の日程の説明と引率者の紹介をし、買い物物の時間を設けました。

次に、大風文化交流センター(ハルカイト)に行き、そこで昼食を取り、昼食後は大風の歴史や郷土資料の展示を自由に見学しました。

次は、茨城県五霞町にあるキュー



キューピー工場での試食タイム

ピー工場に行きました。初めに、職員の方から工場の概要説明とマヨネーズの作り方などの映像鑑賞がありました。マヨネーズ・ドレッシング工場の割卵工程では、流れ作業での作業員の素早い手作業にビックリしました。最後に、10数種類のマヨネーズとドレッシングの試食コーナーがあり、野菜と一緒に美味しくいただきました。

利用者へのアンケートから、

- ・この歳になって社会科見学ができたことが楽しかった。また来年も参加したい
- ・大人になって工場見学する機会はあまりないので楽しめた
- ・マヨネーズとドレッシングの種類が多さに驚きました
- ・これからもこういう機会を計画して欲しい

などの声をたくさんいただきました。

## しようわ塾「挑戦しませんか! バルーンアート」

庄和地区公民館



ここをひねって キュッと

改修工事直前の正風館で、楽しい講座を企画しました。

9月29日(日)3階講義室に着くと、長机には鮮やかなテーブルクロス、多数のカラフルなバルーンがあふれわくわくする空間が広がっていました。講師の関根恵子さん、庄和地区の安藤茂雄さん、ほかスタッフ4人が準備中です。10時開始。小学生と保護者3組から高齢のご夫婦まで18人の受講者で、半分くらいが初心者です。

最初は剣を作ります。講師の説明を聞いた後、あらかじめ膨らませたバルーンで持ち手から輪を作り、長い方をくぐらせます。皆さんすぐできました! 持ち手部分をアレンジし5つの玉を作ってサーベルみたいにできるよ、と教えてもらいました。次は犬。ここからは自分で練習用

の細いバルーンを膨らませて作ります。その後、通常の太さのバルーンで挑戦です。バルーンを何度か引っ張り、伸ばしてから膨らますと作りやすくなるそうです。足と胴体のバランスが難しい。犬の作り方はワサギ・ソウ・キリンにも応用できるそうです。

最後は上級編の花です。1本のバルーンを2つに折り、それを3段階重ねにし、両端を持ちながらねじって6枚の花びらにします。あちこちで破裂音が! 「割れても何度も挑戦できると思ってね。」と、講師の励ましの声。もう1本のバルーンを差し込み花芯と茎・葉を作り、苦勞の末に皆さんが花を完成させました。

1本のバルーンから様々な作品が生まれて感動です。達成感いっぱいを受講者の皆さんの笑顔が印象的でした。

### 生涯学習市民推進員(地区別)(※は編集委員)

- 【粕壁】 市川実、泉 栄、佐々木則嗣
- 【内牧】 三輪勝、伊藤有三\*
- 【豊春】 杉山充男、津布久常之
- 【武里】 富岡一雄\*、白川武文、斎藤義男、山本忠士
- 【幸松】 室田茂子、中井みえ子
- 【豊野】 本田幸子\*、樋口京子
- 【武里南】 山田農久、佐野哲郎
- 【庄和】 栗岡一孝、内山厚一、清水希貞\*、上野京子\*